

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部・同歯科技工専門学校同窓会

合同学術講演会抄録、略歴

『現代インプラント事情』

ーコンピュータ支援によるインプラント療法ー

(アナログとデジタルの融合)

山口 芳正

抄録

ここ数年での CAD/CAM の発展速度は凄まじく、技工業界にも多くのシステムが導入されています。インプラント上部構造においても、セメント固定用アバットメントからその外冠となるフレームや、スクリュー固定タイプのフレームさえも、チタンやセラミックスで精度良く製作してくれます。しかしながら、現時点では完成となる最終仕上げまではデジタルである機械に任せるのは不可能でアナログとなる手作業が必要になり、適合精度においてもその工程途中のアナログ作業で大きく結果を左右します。

また、インプラント埋入のシミュレーションソフトであるノーベルガイドについても高度なデジタル技術が多用されたシステムで、正確に使用すれば患者にとって安全確実で場合によっては少ない侵襲で、手術当日には歯が入り食べることができるこの上ないシステムですがアナログの部分で過ちを起こせば患者に大きなダメージを侵しかねません。コンピュータ制御で正確に稼動するデジタルも人間作業のアナログとうまく融合してこそ良い結果を得られます。

今回は、インプラント療法長期症例の経過観察からの考察と、CAD/CAM やノーベルガイドを応用した臨床例をデジタルとアナログの視点から述べさせていただきます。

略歴

昭和62	3月	東京歯科技工専門学校	本科	卒業
平成元年	3月	同校	専修科	卒業
	4月	同校	教務部	入社
3年	3月	同校		退社
	4月	ブローネマルクオッセオインテグレーションセンター		入社
8年	6月			退社
	9月	フェスタデンタルテクノロジー		開設